

前田議員（自民議連）

令和2年9月28日  
教育長答弁実録  
（教育委員会）

（問）県立高校普通科の見直しについて

中央教育審議会の特別部会の再編案を踏まえ、本県の高校普通科においても、広島県らしい特色と魅力を持った再編方針について、速やかに検討を進めるべきと考えるが、今後どのように進めていくのか、教育長の所見を伺う。

（答）

本県におきましては、全ての小・中・高等学校及び特別支援学校において、主体的な学びを促す「学びの変革」に取り組んでおり、児童生徒が自ら課題を発見し解決する学習を進めているところでございます。

この度、中央教育審議会の特別部会において普通科の再編の方向性について示されたところでございますが、本県の高等学校では、現行制度の枠組みの中においても、総合的な探究の時間などにおいて、生徒が自ら本質的な「問い」を設定し、その追究に取り組む学習を目指すなど、広島県らしい特色ある教育活動を推進しているところでございます。

具体的には、「自分とは何か」、「生きるとは何か」という問いから始まり、生徒が一人1台のコンピュータを活用しながら、生徒の興味・関心に応じて実社会をフィールドにした、対話的で深い学びを実践する教育活動を、まずは、ビジネスに直結する内容が教材となる商業高校で導入しているところでございます。

教育委員会といたしましては、こうした取組を普通科はもとより全ての高等学校で展開し、普通科の再編につきましては、これらの取組の成果も踏まえながら検討してまいりたいと考えております。